

2024年12月18日
株式会社SVPジャパン

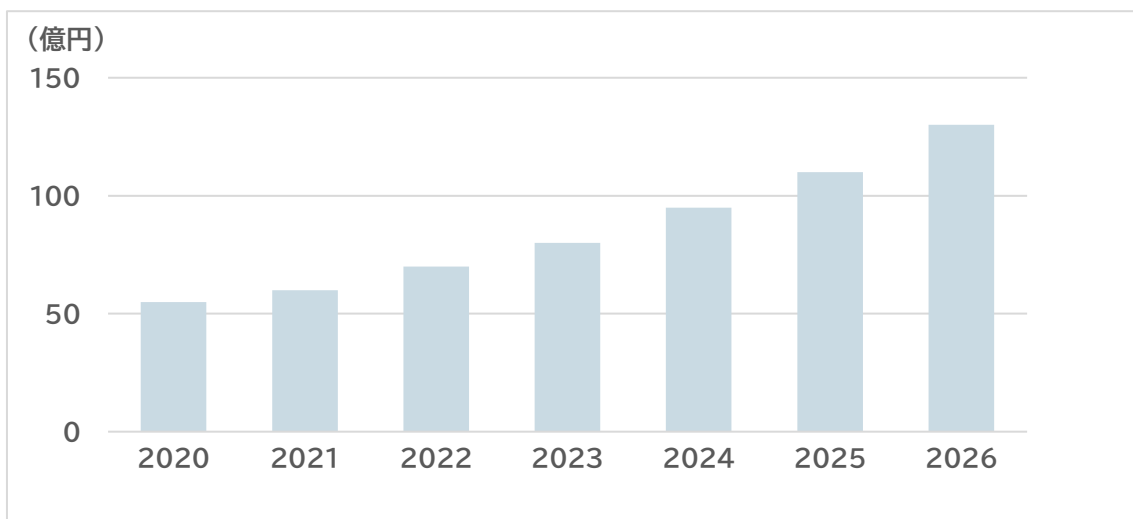
SVP注目市場分析 「ドローン《活用支援サービス》」を公開

～産業界を支えるドローン活用支援サービスの現状～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「ドローン《活用支援サービス》-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ ドローン《活用支援サービス》の国内市場



ドローン活用支援サービスは、民間企業や自治体などから、ドローンを利用・受託するサービス業務を指す。そのサービス内容としては、ドローンのオペレーターの人材派遣をはじめ、業務設計、ドローンの機体や周辺機器、運航システムを含む飛行準備、データ作成、安全管理までをワンストップで受託するケースまで幅広い。分野としては主に、点検業務、測量業務、農作業、空撮業務、監視業務が提供されている。

国内市場は2023年時点で約80億円と推定。土木・建築、農業分野を中心とするドローン活用のニーズの拡大から、好調な市場が続いている。分野別には、「点検業務」の市場規模がもっとも大きい。次いで、農薬散布など「農作業」、「測量業務」の3分野で市場の大半を占めると推定される。一方、物流や広告といった新たな応用分野も成長の兆しを見せている。特に2022年の航空法改正により目視外飛行（レベル4飛行）が解禁されたことで、都市部物流や災害時輸送へのドローン活用が進みつつある。

■ ドローン《活用支援サービス》の市場概況

産業用途でのドローンの普及が進み、ニーズが高まる一方、実際にドローンを活用するためには、設備投資に加え専門的な人材の育成などのハードルが高い。このため、ドローン活用支援サービスの市場拡大が続いている。前述の「点検業務」「農作業」「測量業務」以外で、市場が拡大しているサービスとして「ドローン・ショー」が挙げられる。広告媒体の1つとしても注目されており、需要が大きく伸びていくことが期待される。

また、参入企業では、ドローンによる測量で国内トップクラスの実績があり、施設点検サービスにも強いテラドローン、農薬散布を中心に、農業分野でトップの実績があるオプティムが上位シェアを占めると推定される。また、その他小規模な企業も多数参入しており、市場集中度が低い業界となっている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



■ 次回のテーマ

1月のテーマは「AGV（無人搬送車）」と「スマート水産業」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com